グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学 期
現代社会	2 単位 法と現代	生活と法Ⅱ	小暮仁	1 年次	秋

授業のキーワード	日常生活、契約、紛争と法
	春期に続いて私たちの生活を規律する基本法=民法の基礎知識、一般知識を身につけます。秋期
授業の概要・目的	は契約等について学びますが、これで民法の勉強が完結します。春期同様できるだけ平易に解
	説講義します。
履修のアドバイス・	
前提科目等	春期に生活と法Iを履修した方は必ず受講してください。就職、進学の際の必須知識です。

## 授業展開

	未 皮 闭					
	テーマ	内容		テーマ	内容	
第	総則 I	債権の目的について学びます。	第	契約V	消費貸借について学びます。	
1			9			
講			講			
第	総則Ⅱ	債権の効力、責任財産の保全につい	第	契約VI	使用貸借、賃貸借について学びま	
2		て学びます。	10		す。	
講			講			
第	総則Ⅲ	連帯債務や保証債務について学び	第	契約Ⅶ	雇用、請負、委任について学びます。	
3		ます。	11			
講			講			
第	総則IV	債権譲渡、弁済、供託等について学	第	契約Ⅷ	その他の契約について学びます。	
4		びます。	12			
講			講			
第	契約I	契約の成立、同時履行の抗弁につい	第	その他の債権	事務管理、不当利得について学びま	
5		て学びます。	13	I	す。	
講			講			
第	契約Ⅱ	危険負担、契約の解除について考え	第		不法行為について学びます。	
6		ます。	14	П		
講			講			
第	契約Ⅲ	贈与、売買について学びます。	第	試験		
7			15			
講	ten ( ) — -		講			
第	契約IV	売買(続き)、交換について学びま			出席状況 50% 定期試験	
8		す。	評	価 方 法	5 0 %	
講						
	備 考 ①春期の生活と法Iとワンセットになっていますので生活と法Iを受講した方は必ず本科目					
(関	(関連する資格・試験等) 受講してください。 ②「法学検定試験」 4級の出題対象科目の1つです。					
	使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
生活	生活と法 I (春期) と同じ			その都度紹介します。		